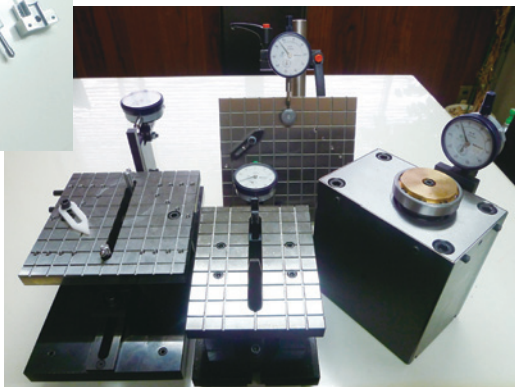


高精度な単品・小ロット品を
ひたすら追求

納期
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



精密加工部品（左）と比較測定器（右）

業務内容

自社完結生産でバランスの
良いものづくり

ベアリング関連部品の製造が6割を占める梅田鉄工所。ベアリング問屋や治工具等、単品・小ロットで精度が要求されるものづくりが得意だ。平面度平行度1μm以下の仕上げに込めることができ、個体差に合わせてつくり込むことができる。

同業他社には見られない特長として、旋盤から研磨まで行える自社完結型の生産体制が挙げられる。これによって、製造リードタイムの短縮や管理コストの削減等が実現でき、品質、価格、納期のどれもが取引先の要求に対応できるバランスの良さを実現している。



新たに3次元測定機を導入

強み

高精度対応の比較測定器を
設計・製作

長年のベアリング周辺部品の経験をベースに、同社が設計から製作まで手掛けているのが、インラインの比較測定器。製造現場ごとに違うラインの特性や設置スペースを踏まえた上で、その現場で最も使い勝手の良いものを一つひとつつくっている。

「ベアリング製造の現場では1μmの繰り返し精度が求められます。それに対応した測定器をつくるために、ひた

すら構成部品や構造の精度アップ、アレンジを図っています」と梅田社長。今後も引き続き、測定器の開発・製作に力を入れていく予定だ。

品質への
対応

20年間続く治工具への
クレームゼロ

工作機械部品、金型の製造も行っており、取引先の要望に広く応えられるよう事業に幅を持たせている。その中核にあるのが、ベアリング部品製造で鍛えられた確実で正確なもののづくりの技術。この20年間で治工具へのクレームはゼロ、加工関連はわずか3件というクレーム率の低さを誇っている。

また、平面度を出すための加工ノウハウや熱処理後の変形まで考慮に入れた部品製造が可能のため、違う業界で使われる部品でも、既存技術を応用してつくり出すことができる。3次元測定機により自由曲面のモデル誤差比較、3Dデータの2次元図面への落とし込みも可能だ。

今後の
展望

機械や治具を使いこなし
フレキシブルに対応

今ある機械や治具でいかに高精度なものづくりができるか。そこに挑戦し続けている同社。一般的なマシニングセンターで、0.4のドリルでステンレスに5Dの穴深さを加工できる技術実績を持っている。

今後は、社内設計力を向上させ、部品製造だけでなく、設計を含めた受注を増加していきたいという。不合理性を省く製造法の提案力を今以上に拡大し、設計込みのものづくりに経験を積みみたいと意欲を見せる。

COMPANY PROFILE

株式会社 梅田鉄工所

大阪
24当社の
歴史

昭和23年にボールベアリング部品製造工場として創業しました。ベアリング関連だけでなく、さまざまな試作品や部品を手掛けてきましたが、時代が猛スピードで変わっていく中、当社はあえて、海外に流出しにくい高精度品の生産に挑戦しています。単品、小ロットの生産が当社の最も得意とするところ。誠実さ、確かさで、これからも良質なもののづくりを目指します。

ものづくりで最後にものをいうのは、数字では計りきれない「感性」。

代表取締役 梅田 誠一さん



■主な事業内容

ベアリング関連・工作機械
部品の製造、弱電メーカー
向け試作品・設備改造部
品・金型入子等の製造等

■主な取引先（納入先）

ベアリングメーカー、
工作機械メーカー、産
業機械メーカー、自動
車部品関連メーカー等

住 所／〒590-0006
堺市堺区錦綾町
2-5-16
TEL／072-232-4766
FAX／072-232-4069
創 業／昭和23年7月
設 立／昭和35年7月
資本金／1,000万円
従業員／10名

<http://www.umetetsu.co.jp/>